

**TOSHIBA**

Leading Innovation >>>

# 2017年度 第1四半期決算

2017年8月10日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務

平田 政善

# 注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの3ヶ月累計です。
- ウェスチングハウス社グループに係る経営成績は、米国会計基準に基づき、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、注記が無い限り、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値を組み替えて表示しています。



# 1. 全社業績

# 今回のポイント

## ● [売上高]

ストレージ&デバイスソリューションは、メモリが大幅に増収となったほか各事業で増収。またエネルギーシステムソリューションも増収となり、全体では対前年同期で増収。為替による全社の影響額は▲10億円。

➤ 売上高 1兆1,436億円 (対前年同期 +864億円)

## ● [損益]

営業損益については、メモリは価格が安定的に推移したことにより、35%の営業利益率を達成し、全体でも対前年同期で大幅増益となり、第1四半期としては過去最高を記録。為替による全社の影響額は▲10億円。

当期純損益については、前年同期に非継続事業損益として家庭電器事業の売却益839億円（税金控除前）を含む利益を計上していたことから、対前年同期で減益。

➤ 営業損益 967億円 (対前年同期 +804億円)  
➤ 税引前損益 851億円 (対前年同期 +812億円)  
➤ 当期純損益 503億円 (対前年同期 ▲295億円)

# 今回のポイント

- **[キャッシュ・フロー]**

フリー・キャッシュ・フローは対前年同期で858億円改善し、9億円のプラスとなった。営業損益の増益に加え、前年同期にはコネ社株式売却益に係る税金の支払等の一時的悪化影響があったこともあり、営業キャッシュ・フローが対前年同期で837億円改善したことが主因。

- **[財務体質]**

503億円の当期純利益の計上により、株主資本は▲5,043億円となった。なお、非支配持分を含んだ純資産は▲2,234億円となった。

# 全社

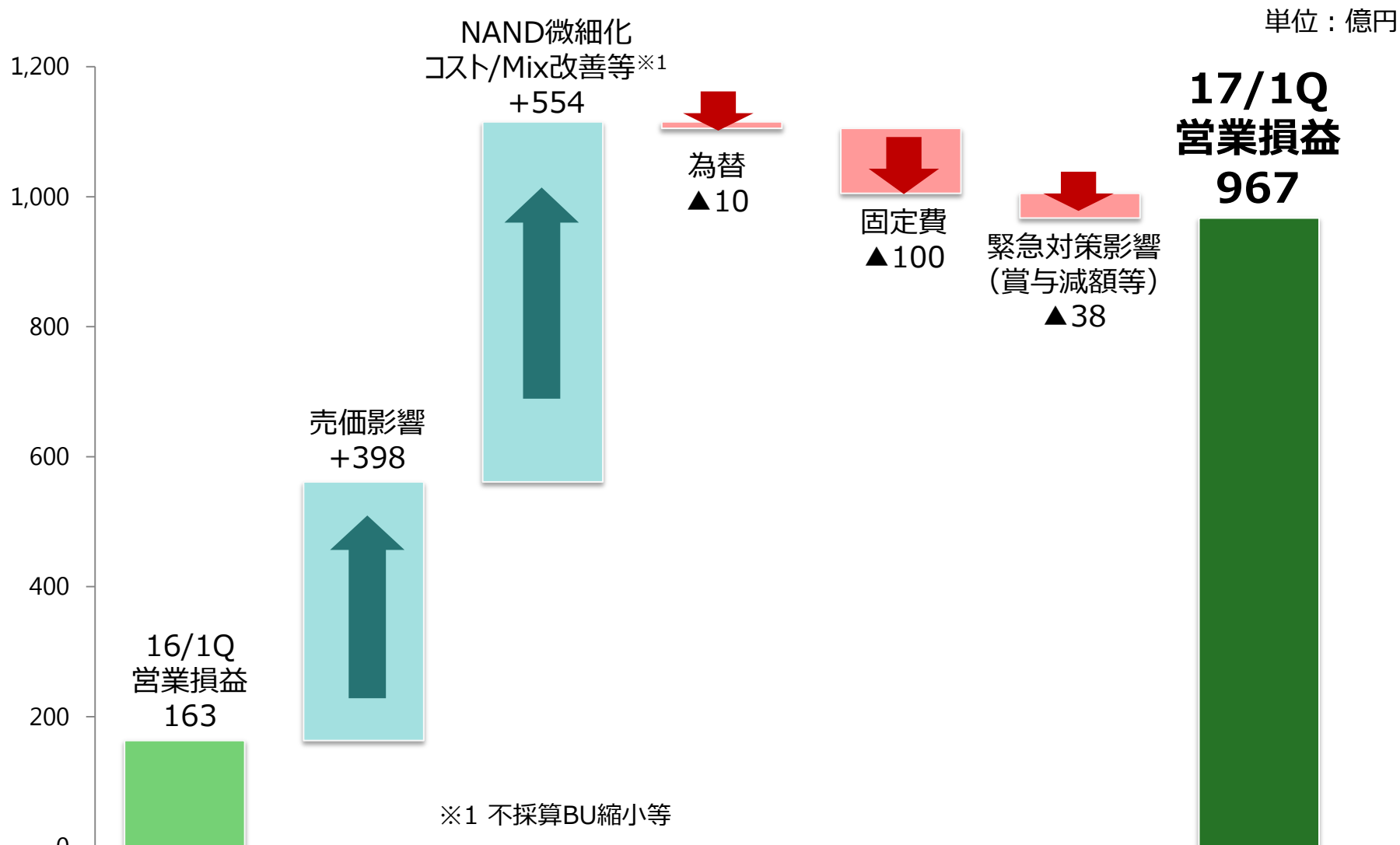
単位：億円

	16/1Q	17/1Q	差
売上高	10,572	<b>11,436</b>	864
営業損益	163	<b>967</b>	804
%	1.5%	<b>8.5%</b>	7.0%
税引前損益	39	<b>851</b>	812
%	0.4%	<b>7.4%</b>	7.0%
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	40	<b>573</b>	533
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	790	-	▲790
当期純損益	798	<b>503</b>	▲295
%	7.5%	<b>4.4%</b>	▲3.1%
1株当たり 当期純損益	¥18.85	<b>¥11.89</b>	▲¥6.96
フリー・キャッシュ・フロー	▲849	<b>9</b>	858

	17/3末	17/6末	差
株主資本	▲5,529	<b>▲5,043</b>	486
株主資本比率	▲13.0%	<b>▲12.0%</b>	1.0%
純資産	▲2,757	<b>▲2,234</b>	523
Net有利子負債	4,961	<b>5,864</b>	903
Net D/E レシオ	-	-	-
期末日為替レート(米ドル)	¥112	<b>¥112</b>	¥0

# 営業損益（対前年同期分析）

売価・物量・コスト低減による効果が寄与し、対前年同期で大幅増益



# 営業外損益

全体としては前年同期比で若干の改善

単位：億円

	16/1Q	17/1Q	差
金融収支	▲21	▲15	6
為替差損益	▲100	13	113
固定資産売却損益	2	※1 2	0
有価証券売却損益	28	※2 1	▲27
訴訟和解費用	▲30	▲19	11
その他	▲3	※3 ▲98	▲95
合計	▲124	▲116	8

※1 軽井沢保養所跡地、青梅地区駐車場等の売却益を含む

※2 江陰新晟電子有限公司の株式売却益を含む

※3 ENGIE社からのNuGen社株式取得関連費用、家庭用燃料電池システムの製造・販売終了に伴う費用等を含む

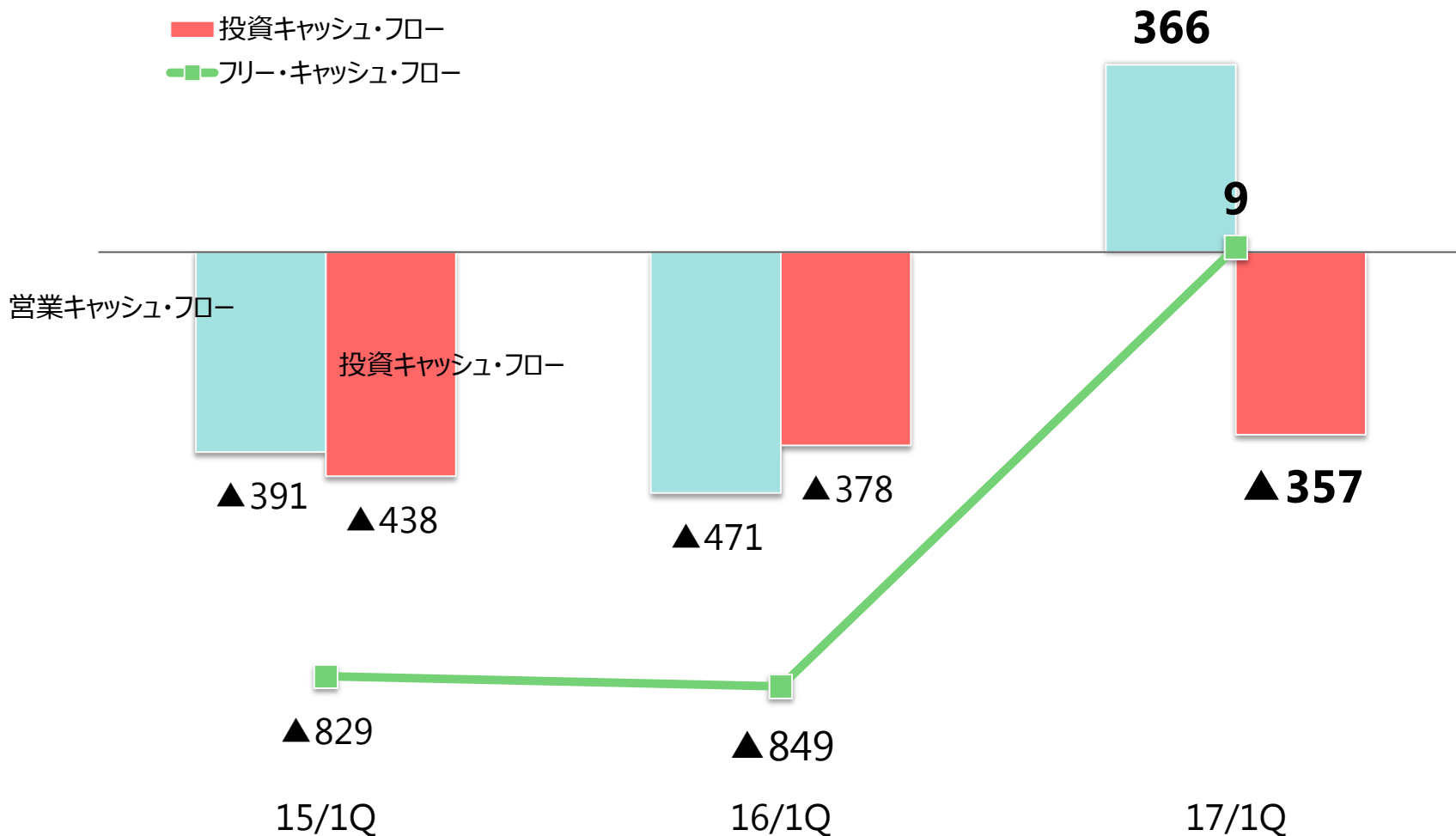


# フリー・キャッシュ・フロー

営業損益の増益により営業CFが大幅改善し、フリー・キャッシュ・フローが黒字化

単位：億円

- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



# 貸借対照表

## 借入金返済及び売掛債権を中心に総資産は減少

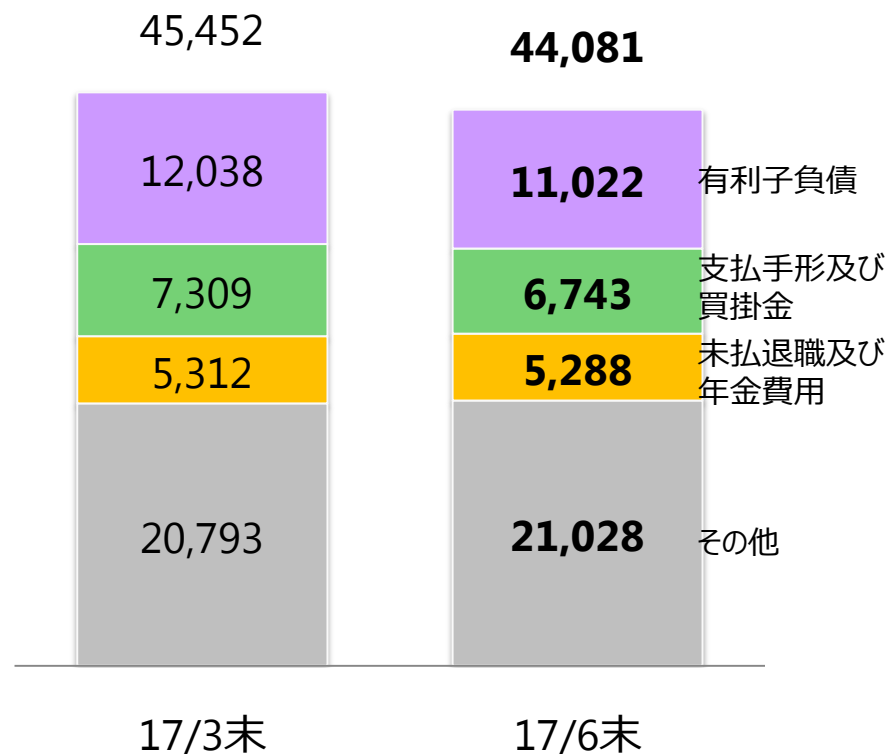
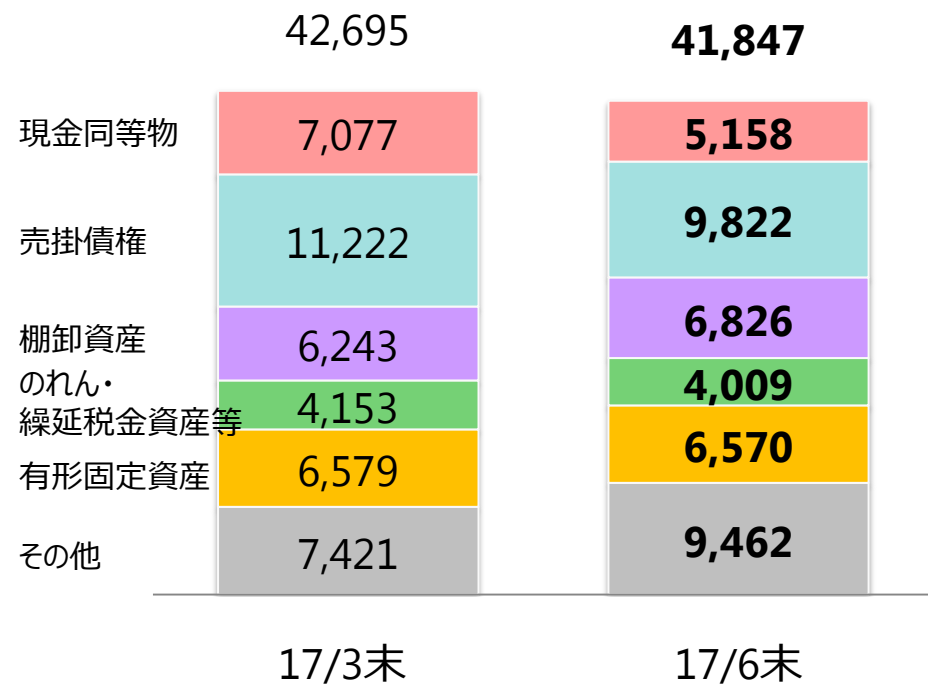
### 資産

- 現金同等物
- 売掛債権
- 棚卸資産
- のれん・繰延税金資産等
- 有形固定資産
- その他

### 負債

単位：億円

- 有利子負債
- 支払手形及び買掛金
- 未払退職及び年金費用
- その他



# のれん及び固定資産の状況

ランディス・ギア社ののれんはIPOにより2Qには除外

単位：億円

(主要な残高)	17/6末 残高		固定資産等		のれん	
		対17/3末		対17/3末		対17/3末
原子力事業	168	▲ 10	168	▲ 10	0	0
ランディス・ギア社	2,316	▲ 13	723	▲ 13	1,593	0
送変電・配電・太陽光	172	▲ 16	172	▲ 16	0	0
照明事業	65	0	65	0	0	0
メモリ	2,715	293	2,715	293	0	0
ディスクリート	139	24	139	24	0	0
システムLSI	100	1	100	1	0	0
ストレージプロダクツ	81	11	81	11	0	0
全社合計	10,522	▲ 62	8,243	▲ 67	2,279	5



## 2. セグメント別業績

# セグメント別

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差 (伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	1,992	<b>2,186</b>	194 (+10%)
	営業損益	▲55	<b>▲17</b>	38
	ROS	▲2.8%	<b>▲0.8%</b>	2.0%
インフラシステム ソリューション	売上高	2,587	<b>2,575</b>	▲12 (▲0%)
	営業損益	23	<b>▲16</b>	▲39
	ROS	0.9%	<b>▲0.6%</b>	▲1.5%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,225	<b>1,179</b>	▲46 (▲4%)
	営業損益	18	<b>38</b>	20
	ROS	1.4%	<b>3.2%</b>	1.8%
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	3,716	<b>4,564</b>	848 (+23%)
	営業損益	241	<b>1,043</b>	802
	ROS	6.5%	<b>22.9%</b>	16.4%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	487	<b>562</b>	75 (+15%)
	営業損益	▲9	<b>▲28</b>	▲19
	ROS	▲1.8%	<b>▲5.0%</b>	▲3.2%
その他	売上高	1,347	<b>1,179</b>	▲168 (▲12%)
	営業損益	▲61	<b>▲52</b>	9
消去	売上高	▲782	<b>▲809</b>	▲27
	営業損益	6	<b>▲1</b>	▲7
合計	売上高	10,572	<b>11,436</b>	864 (+8%)
	営業損益	163	<b>967</b>	804
	ROS	1.5%	<b>8.5%</b>	7.0%

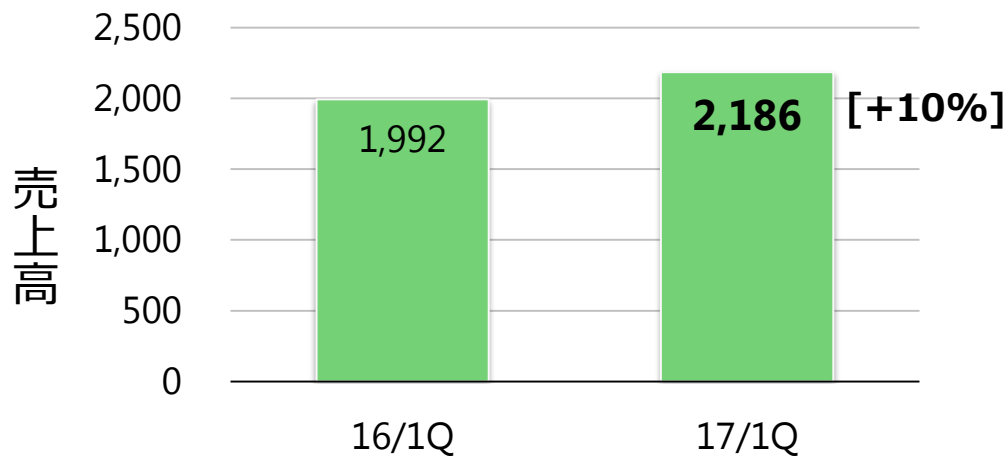
# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)	
エネルギーシステム ソリューション	売上高	1,992	<b>2,186</b>	194	(+10%)	
	営業損益	▲55	<b>▲17</b>	38		
	ROS	▲2.8%	<b>▲0.8%</b>	2.0%		
原子力	売上高	203	<b>258</b>	55	(+27%)	再稼働対応等の工事進行基準案件における工程進捗により増収。営業利益は改善。
	営業損益	▲63	<b>▲52</b>	11		
	ROS	▲31.0%	<b>▲20.2%</b>	10.8%		
火力・水力	売上高	769	<b>904</b>	135	(+18%)	海外プラント案件を中心に、工事進行基準案件の工程進捗により増収、増益。
	営業損益	9	<b>16</b>	7		
	ROS	1.2%	<b>1.8%</b>	0.6%		
送変電・配電等	売上高	665	<b>584</b>	▲81	(▲12%)	太陽光発電の市況悪化により減収。T & D事業の海外事業改善により増益。
	営業損益	▲23	<b>2</b>	25		
	ROS	▲3.5%	<b>0.3%</b>	3.8%		
ランディス・ギア (連結)	売上高	422	<b>483</b>	61	(+14%)	北米・欧州を主に増収。
	営業損益	24	<b>23</b>	▲1		
	ROS	5.7%	<b>4.8%</b>	▲0.9%		

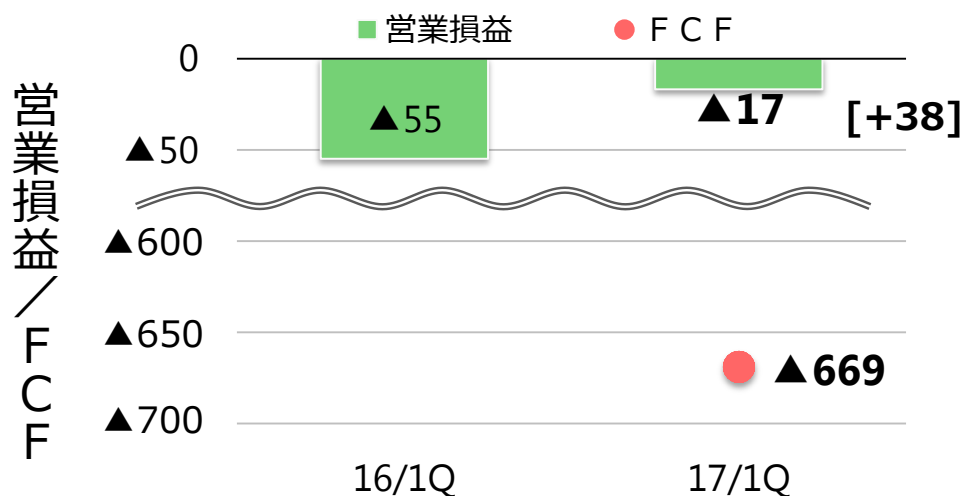
# エネルギーシステムソリューション

単位：億円  
[対16/1Q]



為替影響  
+1

- 原子力、火力・水力、ランディス・ギアが増収。
- 送変電・配電等が減収。



為替影響  
+2

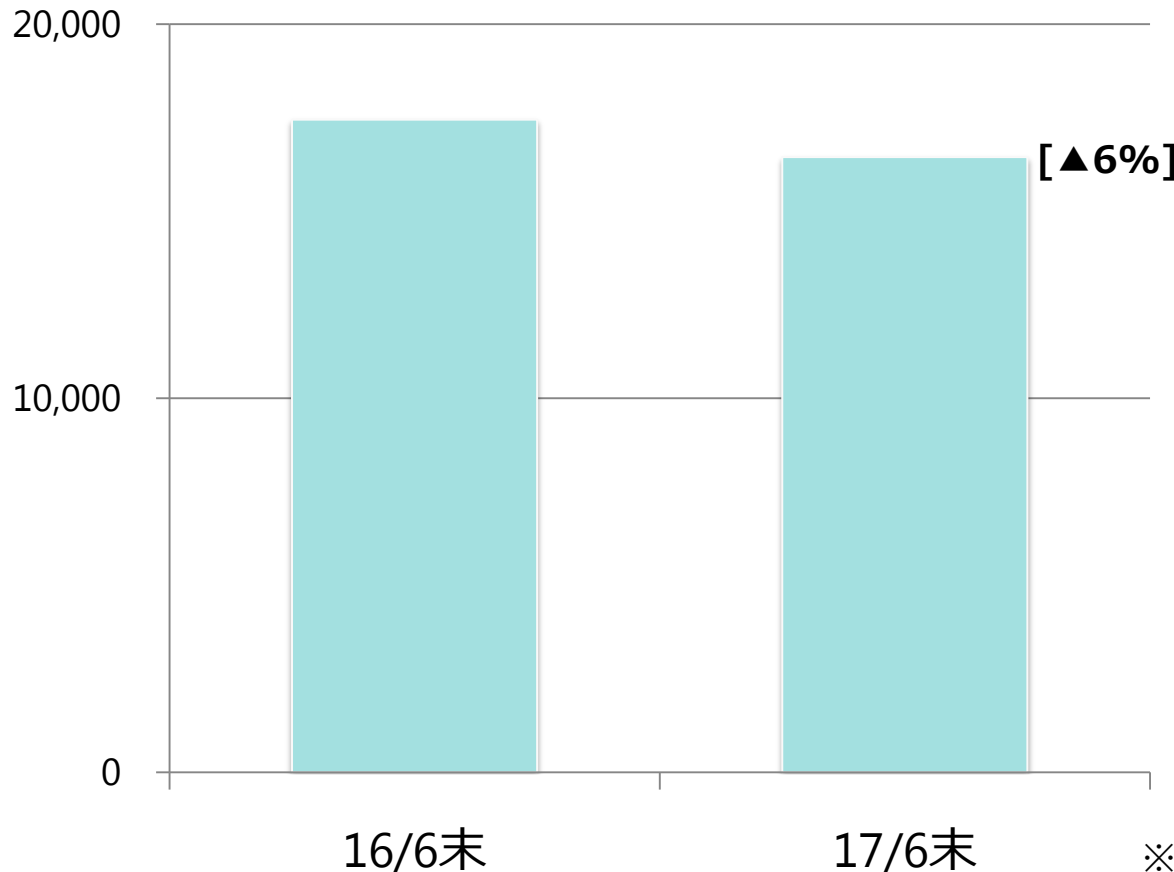
- 原子力、火力・水力、送変電・配電等が増益・改善。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# エネルギーシステムソリューション 受注残高推移

単位：億円  
[対16/6末]

※発電システムおよび送変電・配電システム  
(太陽光発電、ランディス・ギアを除く)



- 原子力は、再稼働対応等を中心に受注し、残高は微減。
- 火力・水力は、大型案件の受注が2Qに集中していることから、残高は減少。
- 送変電・配電等は、中東案件の受注により残高は増加。

※ ウェスチングハウス社グループの数値は過去に遡って除外しています



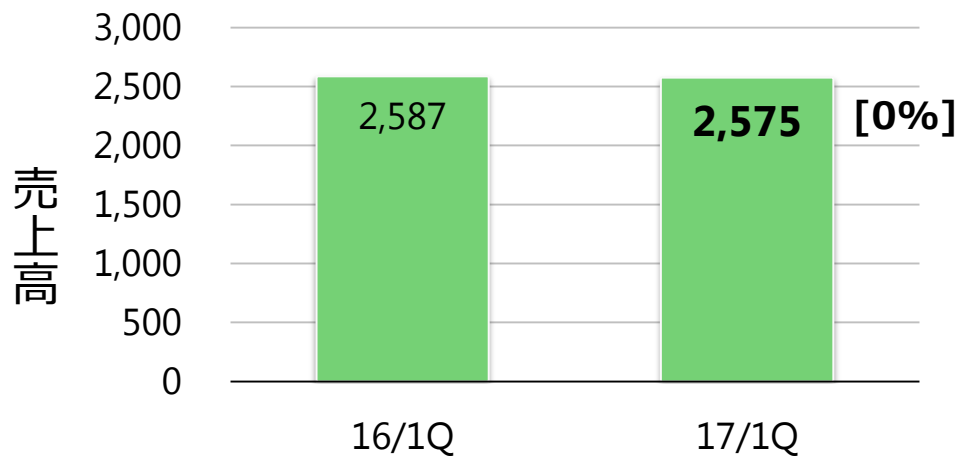
# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)	
インフラシステム ソリューション	売上高	2,587	<b>2,575</b>	▲12	(0%)	
	営業損益	23	<b>▲16</b>	▲39		
	ROS	0.9%	<b>▲0.6%</b>	▲1.5%		
公共インフラ	売上高	667	<b>635</b>	▲32	(▲5%)	受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策減少により減益。
	営業損益	▲16	<b>▲40</b>	▲24		
	ROS	▲2.4%	<b>▲6.3%</b>	▲3.9%		
ビル・施設	売上高	1,343	<b>1,300</b>	▲43	(▲3%)	受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策減少により減益。
	営業損益	52	<b>39</b>	▲13		
	ROS	3.9%	<b>3.0%</b>	▲0.9%		
産業システム	売上高	680	<b>743</b>	63	(+9%)	産業用コンポーネントの規模増により増収。営業損益は緊急対策減少により減益。
	営業損益	▲13	<b>▲15</b>	▲2		
	ROS	▲1.9%	<b>▲2.0%</b>	▲0.1%		

# インフラシステムソリューション

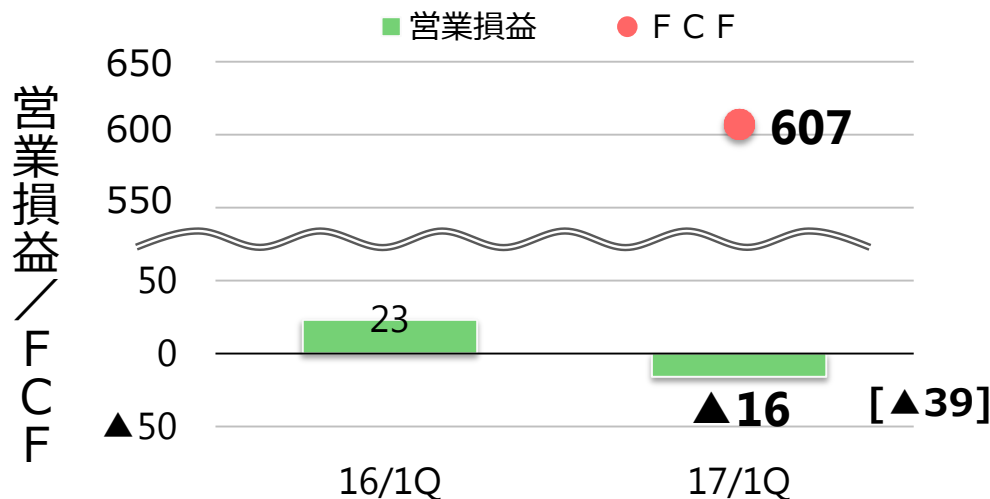
単位：億円  
[対16/1Q]



為替影響

▲15

- 公共インフラ、ビル・施設が減収。
- 産業システムが増収



為替影響

▲9

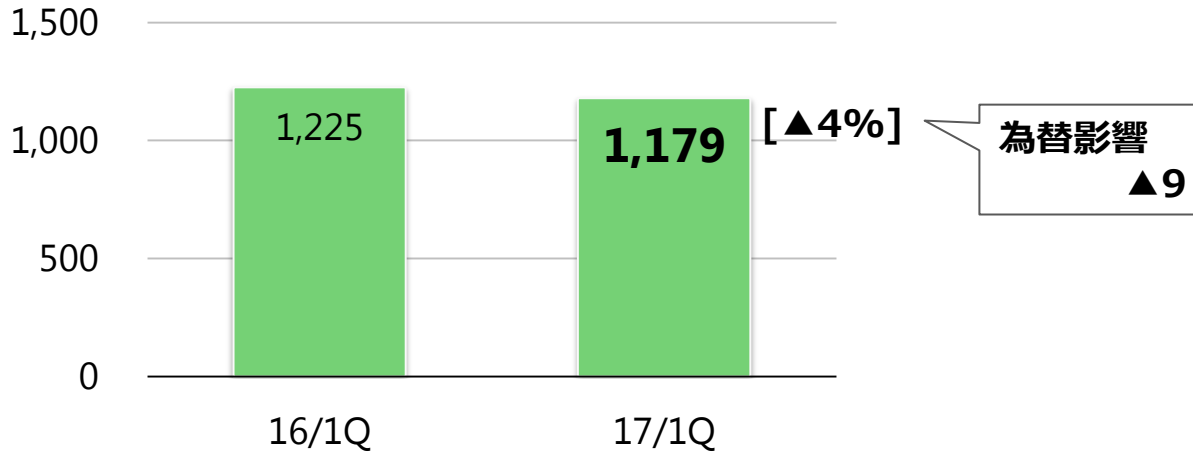
- 公共インフラ、ビル・施設が減益・悪化

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# リテール&プリンティングソリューション

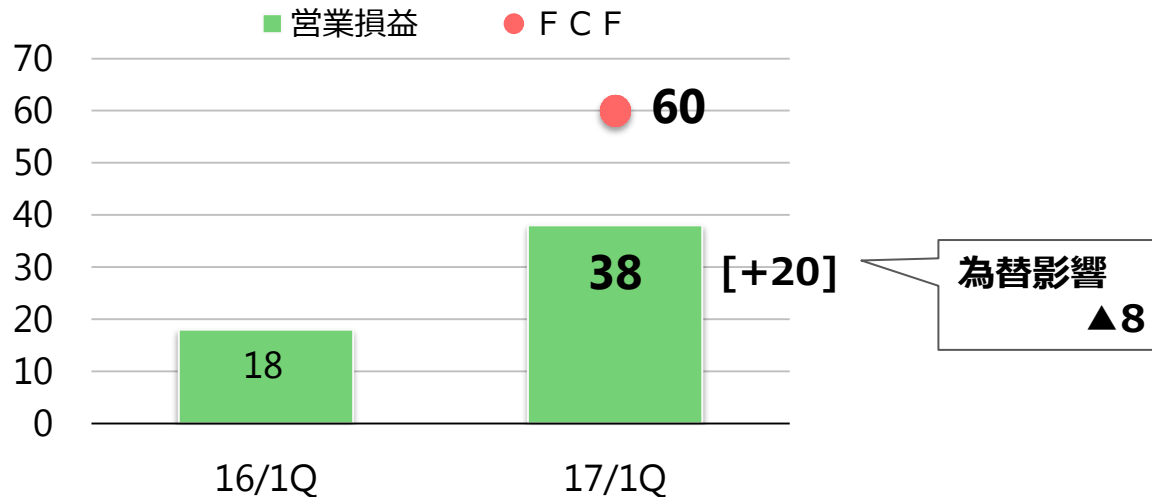
単位：億円  
[対16/1Q]

売上高



- リテール事業、プリンティング事業それぞれ堅調に推移したが、リテール事業の子会社売却の影響などにより減収。

営業損益／FCF



- リテール事業、プリンティング事業それぞれ増益となり収益拡大。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

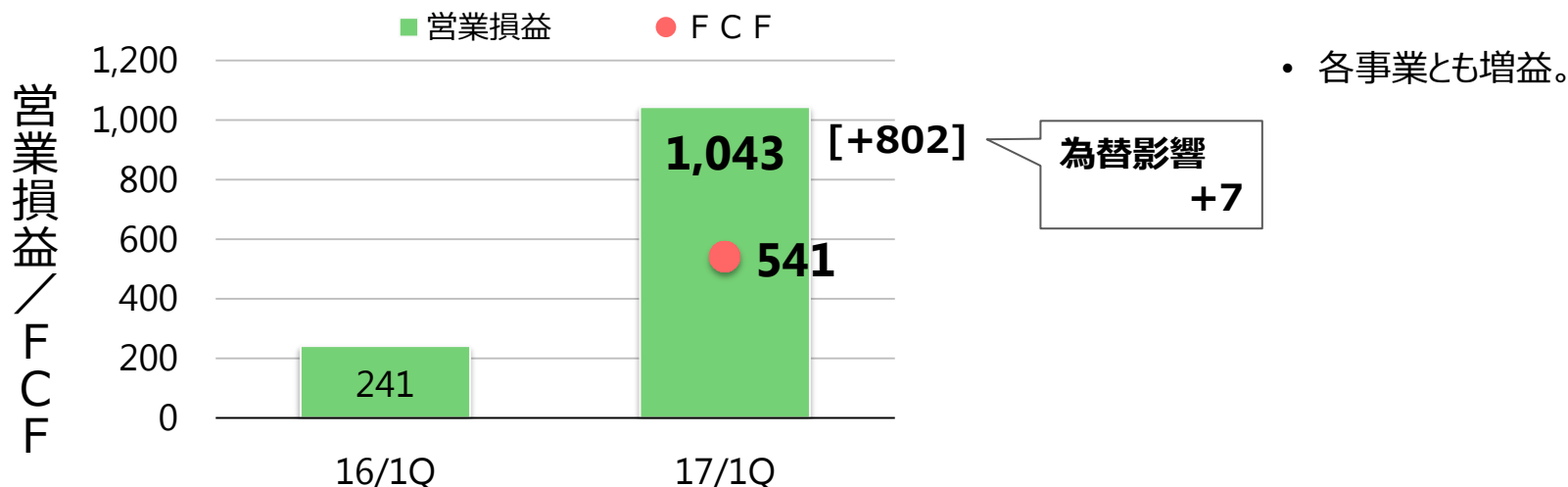
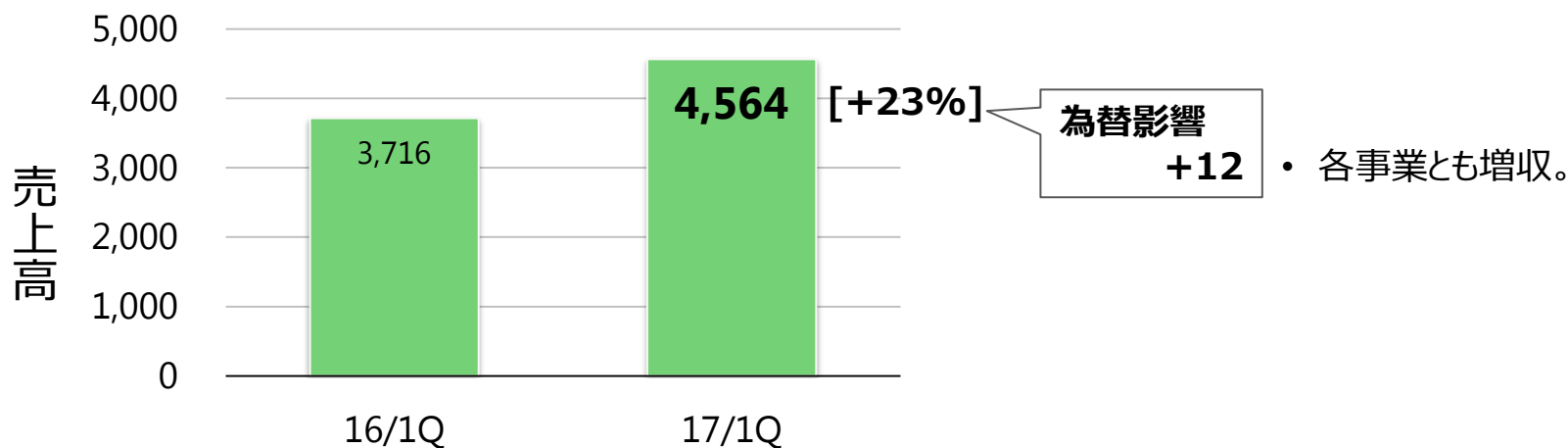
# ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)		
ストレージ&デバイス ソリューション		売上高	3,716	<b>4,564</b>	848	(+23%)	
		営業損益	241	<b>1,043</b>	802		
		ROS	6.5%	<b>22.9%</b>	16.4%		
ストレージ	メモリ	売上高	1,911	<b>2,578</b>	667	(+35%)	旺盛なスマホやSSD需要により売価は安定的に推移、売上高・損益ともに対前年、対計画振れ。
		営業損益	173	<b>903</b>	730		
		ROS	9.1%	<b>35.0%</b>	25.9%		
	HDD	売上高	1,033	<b>1,068</b>	35	(+3%)	ノートPC、企業向け市場ともに堅調、増収増益。
		営業損益	47	<b>67</b>	20		
		ROS	4.5%	<b>6.3%</b>	1.8%		
デバイス他		売上高	772	<b>918</b>	146	(+19%)	好調なディスクリート、システムLSIにおけるファンダリ事業の拡大などにより、増収増益。
		営業損益	21	<b>73</b>	52		
		ROS	2.7%	<b>8.0%</b>	5.3%		

# ストレージ&デバイスソリューション

単位：億円  
[対16/1Q]

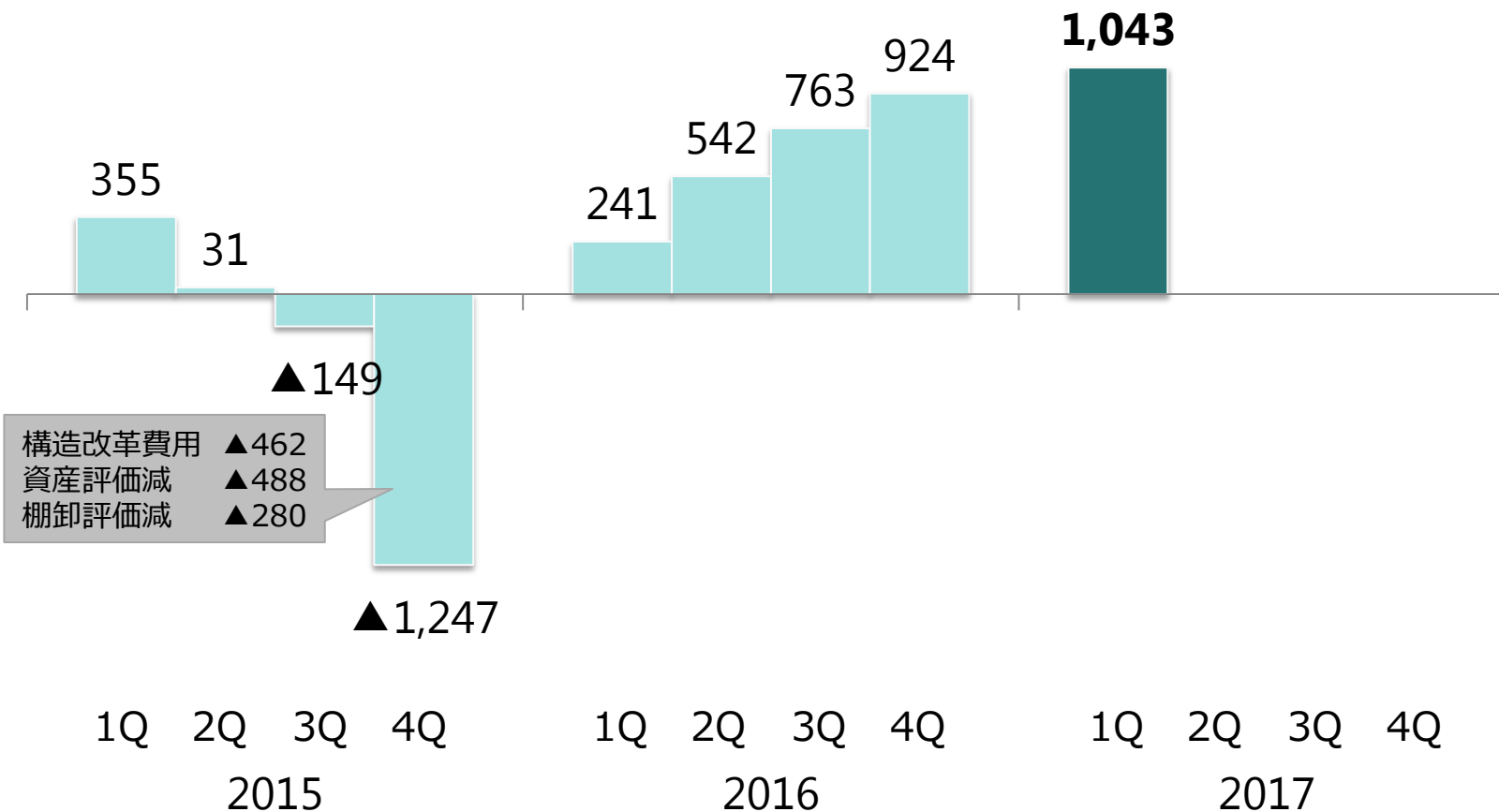


※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# ストレージ&デバイスソリューション 四半期別営業損益トレンド

対16/4Q：メモリが好調を維持し、引き続き増益

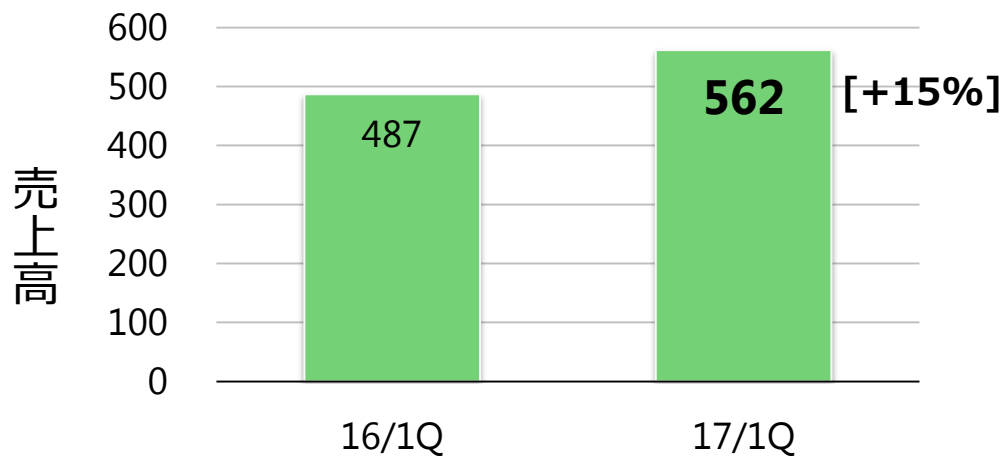
単位：億円



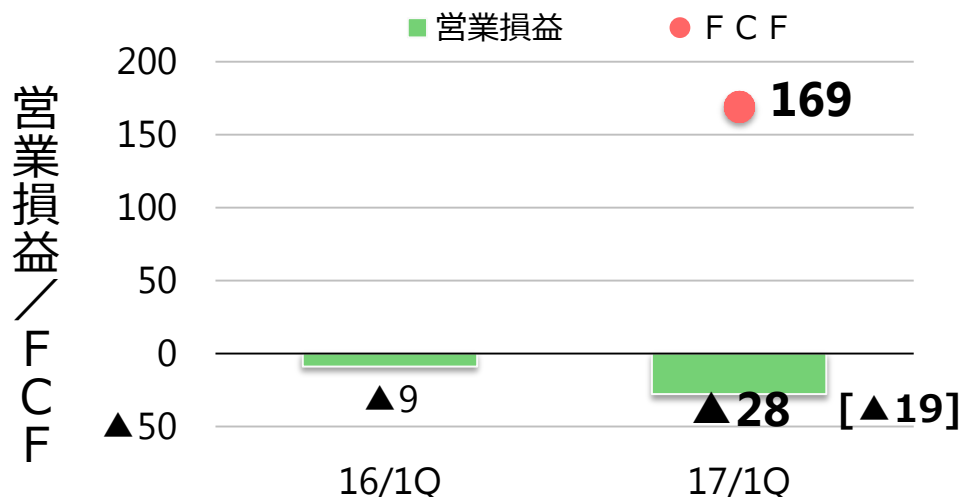
※15年度については、(旧) セミコンダクター & ストレージ社の数値を表示しており、かつセグメント別営業損益の算定方法変更前の数値で表示しています。

# インダストリアルICTソリューション

単位：億円  
[対16/1Q]



- 官公庁向けライセンスビジネス、システム案件、および民需向けシステム案件が好調により増収。



- 一部国内向け情報システム案件の影響、構内通信システム事業の構造改革により減益。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# その他

単位：億円

		16/1Q	17/1Q	差	(伸長率)	
PC	売上高	557	<b>433</b>	▲124	(▲22%)	海外B2Cからの完全撤退や欧米B2B販売低迷等により減収。また減収に加え、SSDなど一部部材コストの上昇もあり損益悪化。
	営業損益	2	<b>▲16</b>	▲18		
	ROS	0.4%	<b>▲3.7%</b>	▲4.1%		
映像	売上高	155	<b>109</b>	▲46	(▲30%)	国内B2Cの規模減と関係会社非連結化影響等で減収。営業損益は国内B2C減収影響等により減益。
	営業損益	▲11	<b>▲29</b>	▲18		
	ROS	▲7.1%	<b>▲26.6%</b>	▲19.5%		





# 3. 2017年度業績予想

# 全社

## メモリ事業への外部資本導入影響 反映前 ランディス・ギア社IPO影響 反映後

- メモリが好調で、今年度については今後も一定の利益率を確保できる見通しであること、また他の事業についても、大きなリスクは想定していないことから、5/15公表から上方修正

単位：億円

	16年度 実績	業績予想		対前年 (17年度)	対5/15公表	
		17/上期	17年度		17/上期	17年度
売上高	48,708	23,800	<b>49,700</b>	992	2,600	2,700
営業損益	2,708	2,100	<b>4,300</b>	1,592	1,500	2,300
営業損益 %	5.6%	8.8%	<b>8.7%</b>	3.1%	6.0%	4.4%
税引前損益	2,255	2,300	<b>4,000</b>	1,745	2,100	2,900
税引前損益 %	4.6%	9.7%	<b>8.0%</b>	3.4%	8.8%	5.7%
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	1,199					
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	▲12,801					
当期純損益	▲9,657	1,400	<b>2,300</b>	11,957	1,300	1,800
当期純損益 %	▲19.8%	5.9%	<b>4.6%</b>	24.4%	5.4%	3.5%
1株当たり 当期純損益	▲¥228.08	¥33.07	<b>¥54.33</b>	¥282.41	¥30.71	¥42.52
フリー・キャッシュ・フロー	▲448	▲300	<b>▲3,800</b>	▲3,352	2,900	2,900

	17/3末 実績	17/9末 見通し	18/3末 見通し	対前年 (18/3末)	対5/15公表	
					17/9末	18/3末
株主資本	▲5,529	▲4,600	<b>▲4,100</b>	1,429	900	1,300
株主資本比率	▲13.0%	▲11.8%	<b>▲10.5%</b>	2.5%	1.3%	2.4%
純資産	▲2,757	▲2,600	<b>▲1,900</b>	857	100	500
Net有利子負債	4,961	5,900	<b>9,400</b>	4,439	▲2,400	▲2,400
期末日為替レート(米ドル)	¥112	¥110	<b>¥100</b>	▲¥12		

# セグメント別

メモリ事業への外部資本導入影響 反映前  
ランディス・ギア社IPO影響 反映後

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年		対5/15公表	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)	17/上	17年度
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	4,300	<b>9,200</b>	▲549	(▲6%)	300	▲600
	営業損益	▲417	▲40	<b>180</b>	597		0	▲70
	ROS	▲4.3%	▲0.9%	<b>2.0%</b>	6.3%		0.1%	▲0.6%
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	5,400	<b>12,500</b>	▲124	(▲1%)	300	300
	営業損益	584	10	<b>420</b>	▲164		50	50
	ROS	4.6%	0.2%	<b>3.4%</b>	▲1.2%		1.0%	0.4%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,077	2,400	<b>5,000</b>	▲77	(▲2%)	0	0
	営業損益	163	60	<b>170</b>	7		0	0
	ROS	3.2%	2.5%	<b>3.4%</b>	0.2%		0.0%	0.0%
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	17,002	9,800	<b>19,200</b>	2,198	(+13%)	1,700	2,700
	営業損益	2,470	2,300	<b>4,150</b>	1,680		1,520	2,420
	ROS	14.5%	23.5%	<b>21.6%</b>	7.1%		13.9%	11.1%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,384	1,200	<b>2,500</b>	116	(+5%)	200	200
	営業損益	116	0	<b>50</b>	▲66		▲20	▲20
	ROS	4.9%	0.0%	<b>2.0%</b>	▲2.9%		▲2.0%	▲1.0%
その他	売上高	5,301	2,300	<b>5,200</b>	▲101	(▲2%)	▲100	▲100
	営業損益	▲217	▲210	<b>▲220</b>	▲3		▲30	▲30
消去	売上高	▲3,429	▲1,600	<b>▲3,900</b>	▲471		200	200
	営業損益	9	▲20	<b>▲450</b>	▲459		▲20	▲50
合計	売上高	48,708	23,800	<b>49,700</b>	992	(+2%)	2,600	2,700
	営業損益	2,708	2,100	<b>4,300</b>	1,592		1,500	2,300
	ROS	5.6%	8.8%	<b>8.7%</b>	3.1%		6.0%	4.4%



# Appendix

# 2017年度上期業績予想 全社

単位：億円

			17/上
	17/1Q 実績	17/2Q 見通し	業績予想
売上高	11,436	12,364	<b>23,800</b>
営業損益 %	967 8.5%	1,133 9.2%	<b>2,100 8.8%</b>
税引前損益 %	851 7.4%	1,449 11.7%	<b>2,300 9.7%</b>
当期純損益 %	503 4.4%	897 7.3%	<b>1,400 5.9%</b>

# 2017年度上期業績予想 セグメント別

単位：億円

		17/1Q 実績	17/2Q 見通し	17/上 業績予想
エネルギーシステム ソリューション	売上高	2,186	2,114	<b>4,300</b>
	営業損益	▲17	▲23	<b>▲40</b>
	ROS	▲0.8%	▲1.1%	<b>▲0.9%</b>
インフラシステム ソリューション	売上高	2,575	2,825	<b>5,400</b>
	営業損益	▲16	26	<b>10</b>
	ROS	▲0.6%	0.9%	<b>0.2%</b>
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,179	1,221	<b>2,400</b>
	営業損益	38	22	<b>60</b>
	ROS	3.2%	1.8%	<b>2.5%</b>
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	4,564	5,236	<b>9,800</b>
	営業損益	1,043	1,257	<b>2,300</b>
	ROS	22.9%	24.0%	<b>23.5%</b>
インダストリアルICT ソリューション	売上高	562	638	<b>1,200</b>
	営業損益	▲28	28	<b>0</b>
	ROS	▲5.0%	4.4%	<b>0.0%</b>
その他	売上高	1,179	1,121	<b>2,300</b>
	営業損益	▲52	▲158	<b>▲210</b>
消去	売上高	▲809	▲791	<b>▲1,600</b>
	営業損益	▲1	▲19	<b>▲20</b>
合計	売上高	11,436	12,364	<b>23,800</b>
	営業損益	967	1,133	<b>2,100</b>
	ROS	8.5%	9.2%	<b>8.8%</b>

# 設備投資（発注ベース）

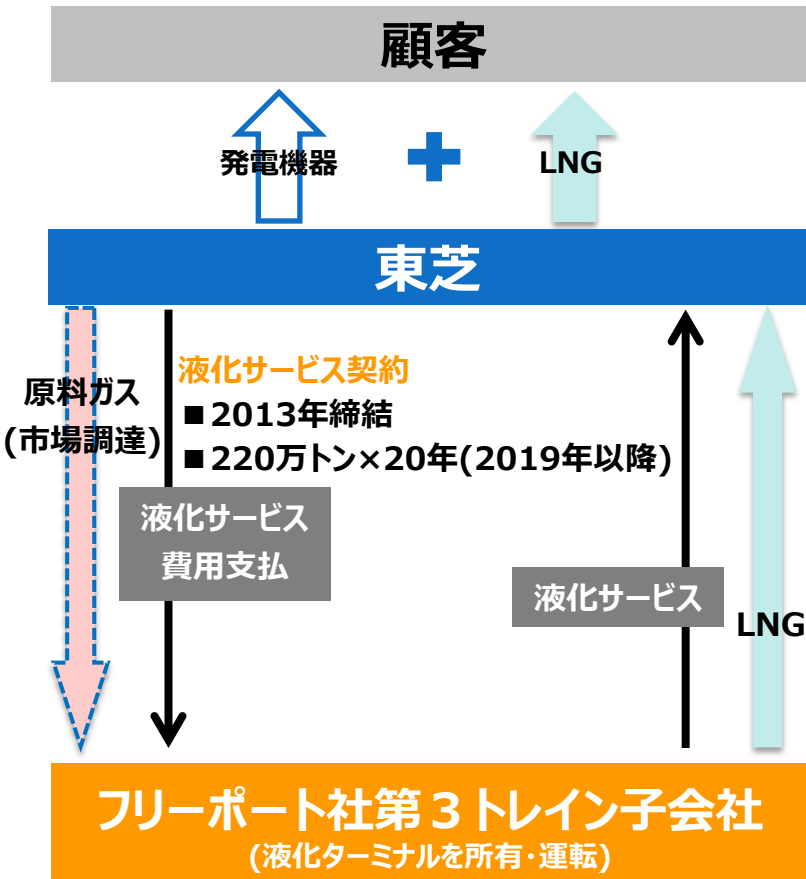
単位：億円

設備投資（発注ベース）	16年度 実績	17年度 見通し	17/1Q 実績	主な案件
エネルギーシステム ソリューション	144	200	14	－
インフラシステム ソリューション	266	450	79	北米拠点向け車載モーター関連設備投資
リテール&プリンティング ソリューション	70	140	20	－
ストレージ&デバイス ソリューション	3,632	3,300	2,595	メモリ製造建屋、建屋内装・動力設備、 製造設備
インダストリアルICT ソリューション	22	30	2	－
その他	111	130	19	－
合計	4,245	4,250	2,729	

投融資	60	800	/	
-----	----	-----	---	--

# LNG事業（フリーポート）

## 液化天然ガス（LNG）の供給体制確立に向け米国現法を本格稼働開始



### 販売契約の獲得状況

- 液化役務契約総量220万トン/年について、契約期間20年のうち一定期間については、8割を超える複数の長期供給の発効条件付基本合意書（数量、価格、期間等合意）を締結済み
- 上記基本合意書締結済分と合せて、契約総量を超える規模の他商談継続中

### 具体的な活動進捗

- 2019年9月からのLNG引渡し開始へ向けた準備として、原料ガス等の調達、LNG供給を担う米国子会社（Toshiba America LNG）を設立（2017年2月）、運営開始（2017年7月）

### 会計上の取扱い

- 2017年度第1四半期決算においては、契約及び商談進捗状況を踏まえ、特段の会計処理は実施していない
- 備船手配・仕向け地決定のリードタイムを勘案し、運転開始の1年前からは、LNG販売が未締結の部分があり、かつSpot市場がコストを下回る場合には、先行1年における生じ得る損失相当額の引当計上を継続検討中

- なお、当社の本天然ガス液化役務契約は、資源権益への投資ではないため、減損会計の対象ではない



# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	4,300	<b>9,200</b>	▲549	(▲6%)
	営業損益	▲417	▲40	<b>180</b>	597	
	ROS	▲4.3%	▲0.9%	<b>2.0%</b>	6.3%	
原子力	売上高	1,821	688	<b>2,008</b>	187	(+10%)
	営業損益	▲451	▲46	<b>62</b>	513	
	ROS	▲24.8%	▲6.7%	<b>3.1%</b>	27.9%	
火力・水力	売上高	3,391	1,792	<b>3,568</b>	177	(+5%)
	営業損益	39	45	<b>115</b>	76	
	ROS	1.2%	2.5%	<b>3.2%</b>	2.0%	
送変電・配電等	売上高	2,977	1,316	<b>3,076</b>	99	(+3%)
	営業損益	27	▲11	<b>47</b>	20	
	ROS	0.9%	▲0.8%	<b>1.5%</b>	0.6%	
ランディス・ギア (連結)	売上高	1,812	※ 669	※ <b>669</b>	▲1,143	(▲63%)
	営業損益	74	※ 35	※ <b>35</b>	▲39	
	ROS	4.1%	5.2%	<b>5.2%</b>	1.1%	

※IPOまでの業績数値

# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	5,400	<b>12,500</b>	▲124	(▲1%)
	営業損益	584	10	<b>420</b>	▲164	
	ROS	4.6%	0.2%	<b>3.4%</b>	▲1.2%	
公共インフラ	売上高	4,219	1,337	<b>3,856</b>	▲363	(▲9%)
	営業損益	288	▲66	<b>145</b>	▲143	
	ROS	6.8%	▲4.9%	<b>3.8%</b>	▲3.0%	
ビル・施設	売上高	5,706	2,771	<b>5,873</b>	167	(+3%)
	営業損益	253	83	<b>213</b>	▲40	
	ROS	4.4%	3.0%	<b>3.6%</b>	▲0.8%	
産業システム	売上高	3,099	1,589	<b>3,259</b>	160	(+5%)
	営業損益	43	▲6	<b>62</b>	19	
	ROS	1.4%	▲0.4%	<b>1.9%</b>	0.5%	

※ 4月1日付でビル・施設ソリューション事業部を社会システム事業部に統合したことから、ビル・施設ソリューション事業部の16年度実績を、「ビル・施設」から「公共インフラ」に組み替えて表示している。

# ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年	
			17/上	17年度	(17年度)	(伸長率)
ストレージ&デバイス ソリューション		売上高	17,002	9,800	<b>19,200</b>	2,198 (+13%)
		営業損益	2,470	2,300	<b>4,150</b>	1,680
		ROS	14.5%	23.5%	<b>21.6%</b>	7.1%
ストレージ	メモリ	売上高	8,972	5,637	<b>11,639</b>	2,667 (+30%)
		営業損益	1,866	2,094	<b>3,712</b>	1,846
		ROS	20.8%	37.1%	<b>31.9%</b>	11.1%
	HDD	売上高	4,613	2,299	<b>4,230</b>	▲383 (▲8%)
		営業損益	360	128	<b>215</b>	▲145
		ROS	7.8%	5.6%	<b>5.1%</b>	▲2.7%
デバイス他		売上高	3,417	1,864	<b>3,331</b>	▲86 (▲3%)
		営業損益	244	78	<b>223</b>	▲21
		ROS	7.1%	4.2%	<b>6.7%</b>	▲0.4%

# その他

単位：億円

		16年度 実績	業績予想		対前年 (17年度) (伸長率)
			17/上	17年度	
PC	売上高	1,918	860	<b>1,841</b>	▲77 (▲4%)
	営業損益	▲5	▲25	<b>5</b>	10
	ROS	▲0.3%	▲2.9%	<b>0.3%</b>	0.6%
映像	売上高	616	244	<b>588</b>	▲28 (▲5%)
	営業損益	▲129	▲39	<b>▲38</b>	91
	ROS	▲20.9%	▲16.0%	<b>▲6.5%</b>	14.4%

**TOSHIBA**

**Leading Innovation >>>**